



宮崎県職員（畜産職）の紹介

宮崎の畜産を
日本のトップランナーへ！



宮崎県



私たちは宮崎県の畜産振興を図るため、生産者、関係団体と一体となって畜産経営の土台となる

●家畜防疫の強靱化を図りつつ、

- 「生産力」の強靱化（畜産農家の生産力をアップ!）
 - 「人材力」の強靱化（地域の担い手やリーダー農家を育成!）
 - 「地域資源循環」の強化（飼料自給率向上や堆肥の活用!）
- の3本柱に取り組んでいます。

宮崎県「畜産職」の
主な仕事を紹介するね!



OFFICE 畜産職の職場

畜産職の県職員は、宮崎市にある本庁、県内各地にある支庁・農林振興局、農業改良普及センター、畜産試験場、県立農業大学校、家畜保健衛生所及び県外事務所等の職場を、3～4年程度のサイクルで経験します。

①本庁

畜産振興課、家畜防疫対策課、農政企画課、農業流通ブランド課、農業普及技術課、担い手農地対策課、財政課、国際・経済交流課

②支庁・農林振興局

- ・中部農林振興局（宮崎市）
- ・北諸県農林振興局（都城市）
- ・児湯農林振興局（高鍋町）
- ・西臼杵支庁（高千穂町）
- ・南那珂農林振興局（日南市）
- ・西諸県農林振興局（小林市）
- ・東臼杵農林振興局（延岡市）

③農業改良普及センター

- ・中部農業改良普及センター（国富町）
- ・北諸県農業改良普及センター（都城市）
- ・児湯農業改良普及センター（西都市）
- ・東臼杵北部農業改良普及センター（延岡市）
- ・南那珂農業改良普及センター（日南市）
- ・西諸県農業改良普及センター（小林市）
- ・東臼杵南部農業改良普及センター（日向市）
- ・西臼杵農業改良普及センター（高千穂町）

④畜産試験場

- ・畜産試験場（本場）（高原町）
- ・畜産試験場川南支場（川南町）

⑤県立農業大学校・家畜保健衛生所

- ・県立農業大学校（高鍋町）
- ・宮崎家畜保健衛生所（宮崎市）
- ・都城家畜保健衛生所（都城市）
- ・延岡家畜保健衛生所（延岡市）

⑥県外事務所

- ・東京事務所（東京都）
- ・大阪事務所（大阪府）



MISSION 畜産職の業務

●畜産振興課（本庁）の業務内容

家畜や飼料の生産、環境保全、畜産経営の支援、畜産物の流通・販売、家畜伝染病の予防対策・まん延防止などの面から、宮崎の重要な産業の一つである畜産業を支え、発展させるための施策を立案し、実行します。

また、宮崎のブランドである「宮崎牛」、「宮崎ブランドポーク」、「みやざき地頭鶏」や県産牛乳の消費拡大を目指し、関係団体とともにプロモーション活動を行います。

みやざき畜産共創プラン

本県畜産を持続可能な魅力ある産業として発展させるため、令和3年度に策定しました。



現在、プランで定めた具体的な取組が県内各地で展開されています。



左：地域での検討会議の様子
右：プラン実現の取組み（耕畜連携研修会）

畜産物の流通・輸出

関係団体と共に、国内外に畜産物3ブランドを売り込むための戦略を立て、実践しています。



スペインでの宮崎牛プロモーション



「みやざき地頭鶏」の企業とのコラボ商品の開発

●支庁・農林振興局及び農業改良普及センターの業務内容

支庁・農林振興局では畜産に関する補助事業の指導・助言や検査等、農業改良普及センターでは各種畜産技術の普及指導、畜産農家への経営指導・分析を行っています。



補助事業（畜舎建設）の完了検査



農場の巡回指導



スマート畜産の推進



飼料作物のほ場調査



飼料作物の優良品種選定会議



家畜防疫演習

●畜産試験場の業務内容

畜産試験場は本場（高原町）と支場（川南町）に分かれています。本場は「肉用牛部」「酪農飼料部」「家畜バイテク部」、川南支場は「養豚科」「養鶏科」「環境衛生科」があり、畜産農家に役立つ技術の開発に取り組んでいます。

畜産試験場（本場）

肉用牛部

肉用牛の生産性向上や省力化・軽労化のための飼養管理技術の検討



酪農飼料部

温暖化に対応した乳牛の飼養管理試験や飼料作物の優良品種選定試験



家畜バイテク部

抗酸化物質添加による採卵成績の向上



畜産試験場（川南支場）

養豚科

新品種豚導入試験や未利用資源を活用した肥育試験



養鶏科

「みやざき地頭鶏」の素ひな安定供給（種鶏づくり）のための調査



環境衛生科

地域資源を活用したアミノ酸バランス改善飼料の効果実証

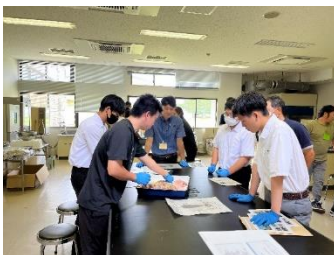


●県立農業大学校、家畜保健衛生所の業務内容

県立農業大学校

幅広い国際的視野と高度な生産技術及び経営能力を身につけた農業者並びに地域農業のリーダーとなる優秀な人材の育成を行っています。

畜産職が配属される畜産学科では、自然あふれる広大な実習農場における畜産経営の実践や、プロジェクト研究学習の指導による学生の育成に取り組んでいます。



家畜保健衛生所

農家が飼養する家畜の衛生対策や畜産農家への支援、家畜伝染病の予防対策・まん延防止対策などを行っています。

畜産職が配属される生産安全課では、家畜人工授精及び受精卵移植技術の普及・啓発、飼料の安全性確保のための検査業務などを行っています。





勤務
時間は？

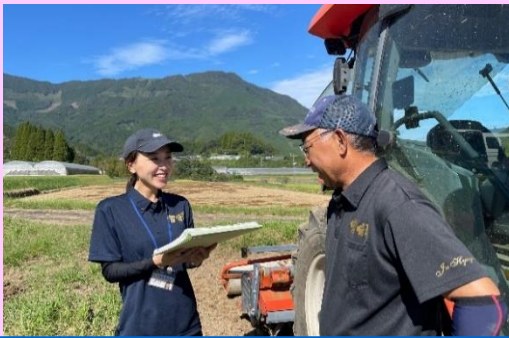
月曜日～金曜日
午前8時30分～午後5時15分
(休憩時間除く 週38時間45分)

休暇は？

【年次有給休暇】
入庁した年は15日/年
それ以後は20日/年

【その他の特別休暇】
夏季休暇、結婚休暇、出産休暇、
育児休暇など

MESSAGE



飼養管理や飼料生産等の技術支援を行っています



飼料の簡易分析等を行っています

いりくら りこ
入倉 法子
◆所属: 東臼杵南部農業
改良普及センター
◆入庁: 平成29年度

◆**県の畜産職を選んだ理由**
平成22年に発生した口蹄疫をきっかけに大学で畜産を学び、地元宮崎県で農家の方々を支えていきたいと思いました。
◆**県の畜産職受験を考えている人へのメッセージ**
畜産職の業務内容は、畜産行政や普及、試験研究など多方面にわたり、それぞれの立場から宮崎県の畜産振興のために日々課題に取り組んでいます。私自身、知識も経験もまだまだ積み重ねている段階ですが、皆さんと一緒に成長しながら宮崎県の畜産を盛り上げていける日を心待ちにしています！

TOPICS



「全国和牛能力共進会」における史上初の内閣総理大臣賞4大会連続受賞



WBC宮崎キャンプでの宮崎牛贈呈



宮崎県畜産共進会



みやざきミルクフェア



宮崎ブランドポークのシンガポール輸出第1便



たまニコ自転車リレーによる鶏卵消費拡大PR

私たちと一緒に みやざきの畜産を 盛り上げていきましょう！

待ってます！



お問い合わせ先

宮崎県 農政水産部 畜産局 畜産振興課

電話:0985-26-7140

E-mail chikusanshinko@pref.miyazaki.lg.jp

宮崎県職員採用案内

宮崎県職員 技術

検索

HP上の「畜産」をクリック

